

契約書とは別に表明確約等を作成する場合

確約書(例)

暴力団等反社会的勢力ではないこと等に関する表明・確約書

〇〇株式会社
代表取締役

殿

〔〇〇株式会社代表取締役〕

住所

(ふりがな)

氏名

昭・平 年 月 日生 (歳)

- 1 私〔当社（役員及び経営に実質的に関与している者を含む）〕は、現在又は将来にわたって、次の各号の反社会的勢力のいずれにも該当しないことを表明、確約（いたします・いたしません）。
 - ① 暴力団
 - ② 暴力団員
 - ③ 暴力団員でなくなってから5年を経過していない者
 - ④ 暴力団準構成員
 - ⑤ 暴力団関係企業
 - ⑥ 総会屋等
 - ⑦ 社会運動等標ぼうゴロ
 - ⑧ 特殊知能暴力集団
 - ⑨ その他前各号に準ずる者
- 2 私〔当社〕は、現在又は将来にわたって、前項の反社会的勢力と次の各号のいずれかに該当する関係がないことを表明、確約（いたします・いたしません）。
 - ① 反社会的勢力によって、その経営を支配される関係
 - ② 反社会的勢力が、その経営に実質的に関与している関係
 - ③ 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図り、又は第三者に損害を加えるなど、反社会的勢力を利用している関係
 - ④ 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関係
 - ⑤ その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係
- 3 私〔当社〕は、自ら又は第三者を利用して次の各号のいずれの行為も行わないことを表明、確約（いたします・いたしません）。
 - ① 暴力的要求行為
 - ② 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - ③ 取引に関して脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為
 - ④ 風説を流布し、偽計又は威力を用いて、貴社の信用を毀損し、又は貴社の業務を妨害する行為
 - ⑤ その他前各号に準ずる行為
- 4 私〔当社〕は、下請け又は再委託先業者（下請け又は再委託契約が数次にわたるときは、その全てを含む。以下同じ。）との関係において、次の各号のとおりであることを表明、確約（いたします・いたしません）。
 - ① 下請け又は再委託先業者が前1、2及び3に該当せず、将来においても前1、2及び3に該当しないこと
 - ② 下請け又は再委託先業者が前号に該当することが判明した場合には、直ちに契約を解除し、又は契約解除のための措置を執ること
- 5 私〔当社〕は、下請け又は再委託先業者が、反社会的勢力等から不当要求又は業務妨害等の不当介入を受けた場合は、これを拒否し、又は下請け又は再委託先業者をしてこれを拒否させるとともに、速やかにその事実を貴社に報告し、貴社の捜査機関への通報に協力することを表明、確約（いたします・いたしません）。
- 6 私〔当社〕は、これら各項のいずれかに反したと認められることが判明した場合及び、この表明・確約が虚偽の申告であることが判明した場合は、催告なしでこの取引が停止され又は解約されても一切異議を申し立てず、また賠償ないし補償を求めないとともに、これにより損害が生じた場合は、一切の私〔当社〕の責任とすることを表明、確約（いたします・いたしません）。

令和 年 月 日

署名

印

(注) 契約の相手方に保証人がある場合には、契約の相手方、契約の相手方の保証人は各別に作成してください。

1から6までの各項目末尾の〈いたします・いたしません〉は、必ず署名者本人が、どちらかを○で囲んでください。

※契約の主体によって、「私」、「当社」を使い分けてください。

※代表取締役以外の役員について、必要と認めるときは別紙として住所・氏名・生年月日の記載を依頼するようにしてください。

※上記の文例は、あくまで文例の1つにすぎません。